

1948年兵庫県尼崎市生まれ

兵庫県立神戸高校から大阪教育大学に進み、物理教育を専攻

2003年春までの31年間、公立小・中学校理科教師

1992年に、尼崎市立武庫東中学校の生徒たちと、絶滅寸前だった兵庫県の野生ツキノワグマの保護に立ち上がる。そして、祖先が残してくれた豊かな森を失い、クマだけではなく日本文明が滅びようとしていることに気づく。

1997年、教え子たちと実践自然保護団体日本熊森協会を結成し、会長となる。

2018年、会長を教え子の副会長にバトンタッチし、名誉会長となる。

クマをシンボルに、大型野生動物たちの造る保水力抜群の最高に豊かな森を、子や孫、そして、全生物に残すため奔走。

西宮市在住。